

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和7年1月14日(2025.1.14)

【公開番号】特開2024-2126(P2024-2126A)

【公開日】令和6年1月11日(2024.1.11)

【年通号数】公開公報(特許)2024-005

【出願番号】特願2022-101139(P2022-101139)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 5 1 A

A 6 3 F 7/02 3 0 1 C

【手続補正書】

【提出日】令和6年12月27日(2024.12.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

発射装置により遊技領域に打ち込まれて流下し終えた遊技球が列をなして誘導経路を通過して前記発射装置に戻り、遊技機単体で複数の遊技球を循環して使用する遊技機において、

前記誘導経路に沿って延び、発泡体からなるローラ部品を前記誘導経路を通過する遊技球に当接させ、遊技球を磨いて汚れを除去すると共に、遊技球にコーティング剤を付着させるローラ部材を備え、

前記ローラ部材は回転駆動される遊技機。

30

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

上記課題を解決するためになされた発明の一態様は、発射装置により遊技領域に打ち込まれて流下し終えた遊技球が列をなして誘導経路を通過して前記発射装置に戻り、遊技機単体で複数の遊技球を循環して使用する遊技機において、前記誘導経路に沿って延び、発泡体からなるローラ部品を前記誘導経路を通過する遊技球に当接させ、遊技球を磨いて汚れを除去すると共に、遊技球にコーティング剤を付着させるローラ部材を備え、前記ローラ部材は回転駆動される遊技機である。

40

50